

# 五郎沼通信



第1号 平成25年7月25日発行

この通信は、五郎沼の桜や周辺環境を守りながら、五郎沼の活用方法や今後のあり方を地域の皆さんと考えるために発行します。  
(発行部数：200部)

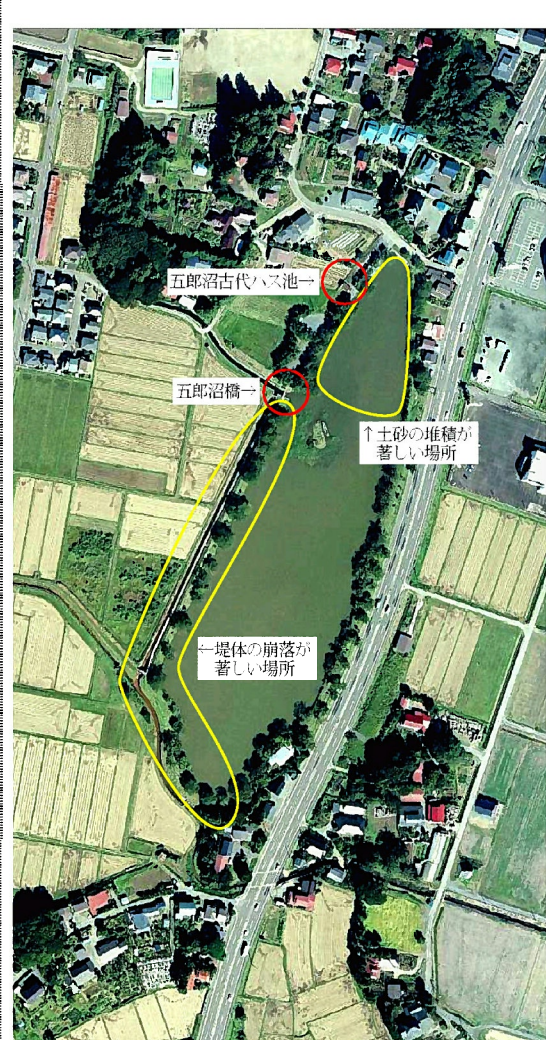
発行者：「五郎沼の桜を守る会」  
事務局 瀬川峰雄  
紫波町南日詰字小路口70-1  
電話：019-672-2656 (FAX兼用)  
携帯：090-2270-6771  
E-mail：shiwajokaso@crest.ocn.ne.jp

## 「五郎沼の桜を守る会」 を立ち上げました



五郎沼は、世界文化遺産「平泉」を築いた藤原氏の分族である樋爪一族の居館「樋爪館」の池で、春は桜の淡いピンク、夏は900年前から里帰りをした古代蓮(中尊寺蓮)の濃いピンク、秋は湖面に映る稲穂の黄色、冬は飛来する白鳥の白と、四季折々の色彩が楽しめる町内外住民の憩いの場所となっています。

このままでは五郎沼を取り囲む桜の生育どころか、堤体の決壊も心配される事態になっており、湖底に溜まるヘドロの撤去、並びに堤体の補強が急務であります。そのため地域住民の力の結集が第一であり、その先に官民連携にて五郎沼を整備することで、観光資源の発掘や史跡保全として、地域の活性化につなげたいと考えています。



五郎沼や、五郎沼を取りまく環境の現状を整理してみました。これらからいくつかの課題が浮かび上がってきます。

① 五郎沼北部の最もハクチョウが集まる場所の土砂(ヘドロ)の堆積が著しい。

### 五郎沼の現状を整理すると...

② 沼西部の桜並木が連続する湖岸部が浸食により後退し、桜(ソメイヨシノ)樹齢約100年の枯死ばかりか堤体の決壊が懸念されている。

③ ハクチョウの飛来地と五郎沼古代ハスが咲くことで紫波町近隣には有名な五郎沼ではあるが、年々訪れる観光客の増加が続いており、五郎沼を中心とした様々な地域活動の動機付けが求められている。

### 浮かび上がる五郎沼の課題は!?

④ 地域の少子高齢化とともに会員の高齢化も進んでいる。

⑤ 財政難の中、公民連携手法で町中心部に新たな行政センター機能が整備されつつあるが、当五郎沼地区を含めた周辺地域間の交流活性化が課題になっている。

五郎沼地区の課題解決の道筋を内外にアピールすることにより、他地域での動きを促進し、町全体の交流活性化を図ることを大きな目標としてあげたい。

# 五郎沼の桜と主なサクラの種類



五郎沼を彩るソメイヨシノ

サクラは、バラ科サクラ属サクラ亜属に分類される落葉広葉樹である。園芸品種が多く、花卉の数や色、花のつけかたなどを改良しようと古くから多くの園芸品種が作られた。日本では固有種・交配種を含め600種以上の品種が確認されている。とくに江戸末期に出現したソメイヨシノ（染井吉野）は、明治以降、日本全国各地に広まり、サクラの中で最も多く植えられた品種となった。

五郎沼に植栽されているサクラは、すべてこのソメイヨシノである。

ソメイヨシノは、江戸末期から明治初期に、江戸の染井村に集落を作っていた造園師や植木職人達によ

って育成された。初めサクラの名所として古来名高く西行法師の和歌にもたびたび詠まれた大和の吉野山（奈良県山岳部）にちなんで「吉野」「吉野桜」として売られ、広まったが、藤野寄命による上野公園のサクラの調査によってヤマザクラとは異なる種の桜であることが分かり（1900年）、この名称では吉野山に多いヤマザクラと混同される恐れがあるため、「日本園芸雑誌」において染井村の名を取り「染井吉野」と命名したという。翌年、松村任三が学名をつけた。

ソメイヨシノは種子では増えない。各地にある樹はすべて人の手で接木（つぎき）などで増やしたものである。

ソメイヨシノは自家不和合性（自家受精が出来ないこと）が強い品種である。よってソメイヨシノ同士では結実の可能性に劣り、結果純粋にソメイヨシノを両親とする種が発芽に至ることはない。このためソメイヨシノの純粋な子孫はありえない。

したがってすべてのソメイヨシノは元をたどればかなり限られた数の原木につながり、それらのクローンといえる。これはすべての

ソメイヨシノが一齐に咲き一齐に花を散らす理由になっているが、特定の病気に掛かりやすく環境変化に弱い理由ともなっている。

数百年の古木になることもあるヤマザクラやエドヒガンに比べ、ソメイヨシノでは高齢の木が少ない。よく60年寿命説が唱えられるが、手入れを尽くせばもう少し長生きするようである。

（以上、Wikipediaの「サクラ」及び「ソメイヨシノ」の記述に多少手を加えて引用）

サクラ属 Prunus は約400種からなるが、主に果実の特徴から5-7の亜属に分類される。サクラ亜属はその1つである。サクラ亜属は節に分かれ、それらは非公式な8群に分かれる。

|         |  |
|---------|--|
| サクラ節    | ヤマザクラ群 - ヤマザクラ、オオヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラ など |
|         | エドヒガン群 - エドヒガン など                        |
|         | マメザクラ群 - マメザクラ など                        |
|         | チョウジザクラ群 - チョウジザクラ など                    |
|         | カンヒザクラ群 - カンヒザクラ など                      |
|         | サトザクラグループ（雑種からなる群）                       |
| ミザクラ節   | ミザクラ群 - セイヨウミザクラ など                      |
| ミヤマザクラ節 | ミヤマザクラ群 - ミヤマザクラ など                      |
| ロボペタルム節 | シナミザクラ群 - シナミザクラ など                      |

## 目的の達成のために「助成金」

◎高額2〜300万円以上

トヨタ財団、三井物産、高速道路交流推進財団、宝くじ等々

\*「高額」申請はNPO等の法人でなければ難しいので、将来は町内のNPOとの連携も考える

\*企画申請書もより高度になるのが一般的

\*「目録資金」はある程度必要【ある方が助成金審査へプラスと考える】

\*他団体（NPOのみではなく、大学、行政等々）との連携具合を見られるようだ【岩手大学の「平泉文化研究センター」への参加、また、下記のホット情報のような、行政が一部工事でも関われば助成金審査へプラスと考える】

◎小額100万円以下

数十万円規模は、かなりあり、都度申請考える

（ホット情報です）

6月29日の赤石公民館での町長も参加する「2013まちづくり座談会」で紫波町役場の小田島産業部長が次のように表明！

「五郎沼の堤体補修工事を本年から少しづつではあるが、状態の悪い堤体部分から杭、板を打ち土を入れて行きたい」とのことです。

本人から再度確認を取りました。



いよいよ工事が始まるか！